われらが 成和

校訓「誠実・敬愛・自主」

福井市成和中学校
令和３年度
学校だより第３１号

TEL（0776）22-8835
FAX（0776）22-8836
URL http://www.fukui-city.ed.jp/seiwa-j/

スクールプランの実現に向け、全生徒・教職員、学校全体で取り組みます

学校経営方針となる「成和中学校スクールプラン」を作成し、昨年度に続き、「確かな学力の育成」「豊かな心と健やかな体づくり」「活力ある集団づくり」「信頼される学校づくり」の４つを重点目標として掲げ、その実現に向けて学校全体で取り組み始めました。

今年度も当面は、新型コロナウイルスの影響により、例年どおりの教育活動は困難となることが予想されることから、「何ができるか、どうしたらできるか」など、生徒自らが「気づき・考え・行動する」ことが求められます。生徒の皆さん一人一人が知恵を出し合って、具体的な実践を行うことにより、子どもの笑顔があふれる学校づくりを進めていきたいと思っております。

令和3年度 福井市成和中学校 スクールプラン

■福井市学校教育目標
「郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成」
■福井市学校教育方針
地域に根ざす「学びの一貫性」

■生徒の実態
・明るく素朴で素直な生徒が多い
・何事にもまじめに取り組む生徒が多い
・指示を待つなど主体性に欠ける生徒が少なくない

■家庭・地域・関係諸機関との連携
・家庭・地域・学校協議会の充実
・家庭教育力の向上をめざすＰＴＡ活動
・地域で育む望ましい社会規範意識
・生徒の健全育成サポート機関等との連携

校訓：誠実 敬愛 自主

めざす学校像	伝統を大切にし、自他ともに誇れる学校
教育目標	国際社会を生き抜く 人間性豊かな生徒の育成
めざす生徒像	・夢や希望を持ち、生き生きと学び続ける生徒 ・自他を尊重し、敬愛の念豊かな生徒 ・たくましく、粘り強く努力する生徒

生徒会テーマ：日本一の学校

研究主題
「自ら学び、考え、高め合う生徒の育成」
～学びをつなぎ、主体性を高める場面の設定を通して～

以和為貴、何事不成

■めざす教師像（合い言葉）
①冷たくない厳しさと甘やかさない温かさ
②チーム成和
・組織人としての責任感・協調性を有し、互いに高め合う教職員
・めざす生徒像の実現に向け、明確なビジョンをもち諸事徹底する教職員
・豊かな人間性と人権感覚をもち、生徒との信頼関係を築く教職員
・生徒の良さや可能性を伸ばす教職員

■中学校区教育の推進
・小中一貫した児童生徒理解
・主体的・対話的で深い学びの充実
・いじめを許さない人権教育の推進
・小中連携による体力向上の推進
・地域に根ざした教育の推進

重点目標

確かな学力の育成

■思考を活性化する課題設定や表現活動の充実
・生徒の学習意欲を高める授業実践と教師相互の積極的な授業参観
・一貫した学習規律の確立と徹底
・学習状況や学力の実態に応じた、指導と評価の一体化
・基礎基本の定着と継続した家庭学習の習慣化
・子どもの読書活動の推進

豊かな心と健やかな体づくり

■規律ある学校生活の確立とたくましい体づくり
・成和五本柱（挨拶、時間、身なり、清掃、聴き方）の徹底
・生徒理解に基づく生徒指導と支援
・スマートルールの遵守を柱とした情報モラル教育の充実
・いじめアンケートの月１回実施
・基礎体力向上に向けた運動量の確保と食育の推進

活力ある集団づくり

■主体性を育てる取組と自己有用感を育む集団づくり
・学校不適応の未然防止に向けた居場所づくりと絆づくりの推進
・集団（学年や学級、部活動等）への所属感と自己有用感の獲得
・生徒会や学年・学級における生徒の主体的な活動の推進
・人とのつながりを大切にし、思いやりや実行力あるリーダーの育成

信頼される学校づくり

■地域に根ざした教育と開かれた学校づくり
・地域団体主催行事への積極的な生徒参加と人的資源の有効活用
・保護者や地域住民（電話や来校者含む）への迅速かつ誠意ある対応
・学校(学年)通信やホームページ等による家庭・地域への情報発信
・教職員による不祥事ゼロ
・９年間の学びの一貫性と円滑な接続に視点を置いた中学校区教育

具体的取組

数値目標

確かな学力の育成		豊かな心と健やかな体づくり		活力ある集団づくり		信頼される学校づくり	
授業がよくわかる	90%	学校が楽しい	95%	みんなと何かをするのは楽しい	95%	学校は生徒個々を大切に〔保〕	90%
授業で考えを深める	90%	いじめ解消率	100%	自分で考え判断・行動できる	95%	学校に気軽に相談できる〔保〕	90%
予習復習など主体的な学習	80%	スマートルールを守っている	90%	教師が生徒の良さを認める	95%	地域に貢献したい	90%

＜業務改善＞
・教員の適正な勤務時間に係る取組等

○教育課程の見直し　○学校・学年行事や会議等の精選　○文書事務及び決裁の効率化　○校内ＬＡＮによる情報共有（ペーパーレス化）
○職員退勤時刻（平日午後８時、水曜は午後６時）　○生徒登校時刻の変更（７時４５分～）、下校時刻（夏季午後６時、冬季５時３０分）
○諸会議６０分（最大９０分）以内に終了　○部活動の休養日（水曜ノー部活デー）や活動時間の遵守、部活動数の適正化
○業務推進日（繁忙期は清掃や５・６限授業カット）　○職員朝礼、一斉家庭訪問の廃止

修学旅行や校外学習をとおして、仲間との絆を深めました

３年生は、５月１８日（火）～１９日（水）に福井県内一泊二日にて修学旅行を行いました。心配されていた天候も、活動への大きな影響はなく、当初の目的を十分達成することができました。参加した生徒全員が全行程を終了することができ、あらためて福井の数々の魅力を再発見できた２日間でした。

１日目は、コース別研修として、①カヤック、②ＳＵＰ、③スケート、④釣り、⑤イチゴ狩りの５つの体験コースを嶺南の地にて行いました。午後は、金ケ崎宮や赤レンガ倉庫、鉄道資料館など敦賀市の歴史や文化を堪能しました。その夜は、芦原温泉に宿泊し、福井出身のマジシャンを招いたマジックショーで楽しみました。２日目は、東尋坊や松島水族館を訪れた後、ボウリングで仲間との絆をさらに深めました。

旅行中、成和中の３年生らしく、挨拶や返事、時間励行、身なり、話の聴き方など、日頃の学校生活で心がけている成果を随所で生かすことができ、訪問先や宿泊先、バス運転手の方々から、生徒の態度やマナーに対するお褒めの言葉をたくさんいただきました。コロナ対策を徹底させた中での修学旅行であったため、さまざまな制限がありましたが、生徒一人一人の心がけにより、仲間とともに精一杯楽しめた旅行となりました。

２年生は、１８日（火）、校外学習として越前陶芸館他６カ所にて体験活動を行い、昼食後は、同広場にて学年レクリエーションを楽しみました。「つくりだそう！はじける笑顔と輝く思い出～楽しい将来ゲットだぜ!!」をスローガンに、大変有意義な日を過ごすことができました。

１年生も、同日に、奥越高原青少年自然の家でオリエンテーリングを行い、昼食後は、越前大仏を見学し、永平寺を訪れました。「絆を固く結ぶとき！」をスローガンに、大変充実した日を過ごすことができました。

１～３年生とも、実行委員の生徒の皆さん、企画から当日の運営までお疲れさまでした。最後になりましたが、修学旅行及び校外学習の実施にあたり、保護者の皆様には、多大なるご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

★令和3年度より、部活動募集停止のお知らせ★

学校の働き方改革（業務改善）が進められる中、平成31年2月には県教育委員会より、同3月には市教育委員会より、「部活動の在り方に関する方針」が出されました。そこには、「学校の生徒や教師の数を踏まえ、指導内容の充実、生徒の安全確保、教師の長時間勤務の解消等の観点から円滑に部活動を実施できるよう、適正な数の部活動を設置すること」、さらには「1つの部活動を複数体制で指導できるよう、教員数のおおむね2分の1程度の部活動数になるよう見直しを行うこと」とあります。

本校でも、部活動数と顧問を受け持つ教職員数の不均衡が明確であり、適正な部活動の運営が維持できない現状にあります。つまり、部活動の掛け持ちが生じていることから、安全確保をはじめ部活動の運営、さらには本来の教育課程の活動にも支障をきたすことになっております。

つきましては、これらの現状に鑑み、また、部活動の現状を総合的に判断し、合唱部、男子ソフトテニス部、バトン部において、今年度より、新入部員を募集停止とさせていただきました。これは苦渋の選択であり、当該部活動の存続に応えられないことを大変申し訳なく思っております。どうか趣旨をご理解いただきますようお願い申し上げます。なお、今後の教員（生徒）数によっては、部活動数の適正化に係るさらなる見直しが求められる可能性があることを申し添えます。